



News Release

Sports

ココロ動く、未来へ。
スカパー!

2019年11月29日
スカパー J S A T 株式会社

今シーズン、最も劇的なサヨナラ打を放った選手が決定！
2019 スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞
年間大賞 受賞者
セ・リーグ 高山俊選手（阪神タイガース）
パ・リーグ 鈴木大地選手（千葉ロッテマリーンズ）



スカパー! は11月29日（金）に「2019 スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」の表彰式を開催しました。表彰式には受賞選手である、阪神タイガース・高山俊選手（セ・リーグ）と千葉ロッテマリーンズ・鈴木大地選手（パ・リーグ）が登壇しました。表彰式後には受賞両選手に加え、高橋由伸氏をゲストにお迎えしてトークショーも行いました。なお、表彰式とトークショーにはスカパー! プロ野球PRアンバサダーを務める倉持明日香さんも参加しました。

表彰式では受賞選手の発表に始まり、受賞プレー紹介をした後、トロフィーと賞金パネルが贈呈されました。高山選手（阪神タイガース）は「どんな時も最後まで応援してくれる阪神ファンの気持ちが乗り移ったかのような打球でした」、鈴木選手（千葉ロッテマリーンズ）は「打った球がボテボテでしたが“抜けてくれ”と思いながら1塁まで駆け抜けたことを覚えています」と打席を振り返りながら、受賞の喜びとともに挨拶しました。

表彰式後、会場では受賞両選手に加え、ゲストに高橋由伸氏をお迎えしたトークショーを行いました。受賞プレーをVTRで振り返る場面や今シーズンの振り返りなどのトークを展開。高山選手は受賞プレーとなった「プロ野球史上17本目の代打サヨナラ満塁本塁打」を振り返ったり、今シーズンの活躍などの感想を述べました。鈴木選手は受賞プレーとなった「プロ野球史上9度目の9回裏に5点差以上を逆転してのサヨナラ勝利」を振り返ったり、球団史上55年ぶりとなる、シーズン3度のサヨナラ打を記録した感想を語りました。高橋由伸氏は、「鈴木選手は来シーズンからチームが変わりますが、引き続きリーダーシップを発揮してチームを引っ張って欲しいと思います。高山選手にはレギュラーになることで阪神の勝利が近づくと思うので頑張ってもらいたいです」と受賞両選手の活躍にエールを送りました。

◎高山俊選手（阪神タイガース） コメント

4 時間半という長い試合でしたが、どんな時でも最後まで応援してくれる阪神ファンの方の気持ちがボールに乗り移ったかのような打球だったと思います。代打だったので、試合展開は覚えていないのですが、この一振りにかかる思いで打席に立ちました。来年以降もこのような素晴らしい賞をもらえるように、また阪神ファン、プロ野球ファンの皆様にドラマティックな感動を与えられるようなプレイができるように頑張っていきます。来シーズン、個人的には“レギュラーを取る”ということを目指して、その中でチームの一つでも多くの勝利をもたらせるように、そしてリーグ優勝・日本一を目指してやっていきたいです。

◎鈴木大地選手（千葉ロッテマリーンズ） コメント

あの試合は、7 回と 9 回と先頭バッターでホームランを打ちました。（9 回にホームランを打った後）点差はありましたが、不思議と“もう一回打席がまわってくるんじゃないか”という気持ちで試合をみていたことを、今でも覚えています。打った球はポテポテでしたが、“抜けてくれ”という思いで 1 塁まで駆け抜けました。そのせいでサヨナラ勝利が決まった瞬間、一瞬喜ぶのが遅れましたが、今までの人生の中でも印象に残るゲームでしたし、これからも一生忘れることのないベストゲームでした。来シーズン、チームが変わりますが移籍した以上は楽天のために一つでも上の順位を目指せるように、この決断が“自分にとって良かった”と一人でも多くの方に思ってもらえるように頑張っていきたいです。

◎ゲスト・高橋由伸氏 コメント

鈴木選手はチームや環境が変わりますが、やることは変わらないですし、求められることも変わらないので、引き続きリーダーシップを発揮してチームを引っ張ってもらえればと思います。高山選手にはタイガースが勝つためには一番は得点力だと思いますから、まだまだ能力を出しきれていないと思いますので、レギュラーになることで阪神の勝利が近づくんじゃないかと思います。

■受賞プレー概要

高山俊選手（阪神タイガース） ～プロ野球史上 17 本目、代打サヨナラ満塁本塁打～

高山選手は、5 月 29 日（水）阪神甲子園球場で行われた対読売ジャイアンツ 9 回戦、4 対 4 で迎えた延長 12 回裏最終回の攻撃、1 死満塁の一打サヨナラのチャンスに代打で登場。読売 8 番手の池田投手から、右翼席へ劇的な代打サヨナラ満塁本塁打を放った。この試合、阪神は 3 点のビハインドで迎えた 5 回裏、上本選手の右中間二塁打で 2 点を返し 1 点差に迫るも、8 回表にソロ本塁打により再び 2 点差に広げられ終始追う展開が続いた。しかし、8 回裏の攻撃でマルテ選手が 2 点本塁打を放ち土壇場で延長戦に持ち込む粘り強さを発揮。延長戦は両チームの投手陣が踏ん張り、最後の 1 点がなかなか奪えない状況が続いたが、延長 12 回裏、1 死満塁と願っても無いチャンスを作り、最後は矢野監督から全てを託された代打高山選手の一振りで 4 時間 30 分の死闘に終止符を打った。高山選手のサヨナラ打は 2016 年 5 月 21 日対広島 8 回戦以来自身 2 度目で、サヨナラ本塁打は初。代打サヨナラ満塁本塁打はプロ野球史上 17 本目となった。

鈴木大地選手（千葉ロッテマリーンズ） ～プロ野球史上 9 度目、9 回裏 5 点差以上を逆転～

鈴木選手は 6 月 16 日（日）ZOZOマリンスタジアムで行われた対中日ドラゴンズ 2 回戦、2 対 7 で迎えた 9 回裏、4 点を返し 1 点差に詰め寄った 2 死満塁の場面で、右前へ逆転のサヨナラ安打を放ち、8 対 7 という劇的なサヨナラ勝利を収めた。この試合、千葉ロッテは 7 回表までに 0 対 5 とリードを許す苦しい展開だったが、7 回裏に鈴木選手のソロ本塁打で反撃開始。再び 5 点差の 2 対 7 で迎えた 9 回裏の先頭打者も鈴木選手だった。ここで放った自身プロ入り 2 度目となる 2 打席連続の本塁打が歴史的逆転勝利の始まりとなった。その後、千葉ロッテ打線は打者一巡の猛攻で、1 点差とし迎えた 2 死満塁で打席には再び鈴木選手。球場の盛り上がりも最高潮の中で、フルカウントからの 6 球目、バットを真っ二つに折りながら振り抜いた打球は 1、2 塁間を抜け右前へ逆転のサヨナラ安打となった。9 回裏に 5 点差以上を逆転してのサヨナラ勝利はプロ野球史上 9 度目。今季鈴木選手はサヨナラ打を 3 度記録。個人シーズン 3 度のサヨナラ打は 55 年ぶり 3 人目の球団タイ記録となった。

■スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞

本賞は、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打などを放った選手（セ・パ両リーグの各1選手）に贈られる賞です。「最後の一球まで何が起こるかわからない」と言われる野球というスポーツの象徴的なプレーであるサヨナラ打を称える本賞は、プロ野球全12球団公式戦全試合を放送し、ファンのみならず胸が熱くなるゲームを最後までお届けしているスカパー!の想いと連動した賞であり、今シーズン記録されたセ・リーグ42試合、パ・リーグ35試合のサヨナラゲームの中から、「最も劇的な一打」を選出しています。受賞両選手にはそれぞれオリジナルトロフィーと賞金200万円が贈られます。

<<年間大賞 歴代受賞選手>>

| 年度 | セントラル・リーグ | パシフィックリーグ |
|------|-----------------------|----------------------|
| 2009 | 亀井 義行（読売ジャイアンツ） | 井口 資仁（千葉ロッテマリーンズ） |
| 2010 | 天谷 宗一郎（広島東洋カープ） | 小久保 裕紀（福岡ソフトバンクホークス） |
| 2011 | 長野 久義（読売ジャイアンツ） | 松田 宣浩（福岡ソフトバンクホークス） |
| 2012 | 和田 一浩（中日ドラゴンズ） | 中田 翔（北海道日本ハムファイターズ） |
| 2013 | 長野 久義（読売ジャイアンツ） | 浅村 栄斗（埼玉西武ライオンズ） |
| 2014 | 福留 孝介（阪神タイガース） | 松田 宣浩（福岡ソフトバンクホークス） |
| 2015 | 雄平（東京ヤクルトスワローズ） | 柳田 悠岐（福岡ソフトバンクホークス） |
| 2016 | 鈴木 誠也（広島東洋カープ） | 吉村 裕基（福岡ソフトバンクホークス） |
| 2017 | 宮崎 敏郎（横浜 DeNA ベイスターズ） | 栗山 巧（埼玉西武ライオンズ） |
| 2018 | 下水流 昂（広島東洋カープ） | 森 友哉（埼玉西武ライオンズ） |

■抽選で選ばれたスカパー! 会員約 80 名も会場で祝福

今年の表彰式は、昨年に引き続きスカパー! 会員の中から抽選で約 80 名様をご招待しました。プレゼント抽選会や選手との記念撮影会も実施。プレゼント抽選会では、両受賞選手のサイン入りグッズが贈呈されました。

リリース情報は、スカパー! 公式サイトにも掲載されております。<https://www.skyperfectv.co.jp/>